



平成 29 年 11 月 8 日

各 位

会社名 パルステック工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 幸博  
 (コード番号 6894 東証第二部)  
 問合せ先 取締役管理部長 工藤 孝史  
 (TEL. 053-522-5176)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月15日に公表した平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日発表の実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異について

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,000	113	121	107	78.67
今回実績 (B)	923	76	79	49	36.12
増減額 (B) - (A)	△76	△37	△41	△58	
増減率 (%)	△7.6	△32.7	△34.4	△54.1	
(参考) 前年同期実績	939	164	164	140	102.31

(注) 平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株を 1 株の割合で併合しております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 差異の理由

売上高につきましては、9月に売上計上を予定していた案件が第3四半期にシフトしたことなどにより、前回予想を下回りました。

損益面につきましては、売上高の減少に加え、複数の受託開発案件に対処するための人件費が増加したことなどにより、前回予想を下回りました。

通期連結業績予想につきましては、光ディスク関連機器・装置は下期も厳しい状況が続く見通しですが、主力のポータブル型X線残留応力測定装置、ヘルスケア関連、3Dスキャナ、光応用装置、特殊機器・装置等は、確度の高い引合い案件も多く、下期は堅調に推移する見通しであることから、現時点におきましては前回業績予想 (平成 29 年 5 月 15 日公表) を据え置きとしております。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因 (経済情勢の急激な変化、関連業界の動向等) により異なる結果となる可能性がありますのでご注意願います。

以 上